

「北方海域技術研究会 平成26年度 技術研究発表会」を開催しました

独立行政法人 寒地土木研究所 寒冷沿岸域チーム 水産土木チーム

2015年1月9日に当研究所講堂において、「北方海域技術研究会 平成26年度 技術研究発表会」(主催:日本技術士会北海道本部北方海域技術研究委員会、寒地土木研究所)を開催しました。本研究発表会は、港湾・水産関係技術者の技術力向上をめざして、毎年開催しており、技術者同士の交流の場としても貴重な機会となっています。日本技術士会北海道本部と当研究所は2011年11月に「連携・協力協定」を締結しており、連携行事の一環でもあります。

当研究所水産土木チームの佐藤主任研究員は「北海道南西日本海沿岸の磯焼け対策としてのコンブのロープ養殖について」と題して、生分解性素材を用いた海藻育成と藻食性動物への給餌手法などについて講演しました。また、寒冷沿岸域チームの森研究員は「防波堤港内消波工の耐津波安定性について」と題し、越流洗掘型の津波による被災パターンに対する港内消波工の機能や安定照査法などについて講演を行いました。

他機関からは、北日本港湾コンサルタント株式会社の佐藤典之氏が「防波堤の信頼性設計における波浪特性と期待滑動量」と題して、波力分布や滑動量分布は平均的にはモンテカルロシミュレーションを用いて推定が可能となることなどについて講演されました。

また、北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部地質研究所の仁科健二氏は「地層から解き明かす過去の津波履歴」と題して、ボーリング資料を利用した古津波の規模と履歴などについて講演されました。

各講演とも興味深い内容であり、会場では活発な質疑が交わされ、この発表会への関心の高さが感じられ

ました。今回の研究発表会には北海道開発局、寒地土木研究所、民間企業等から約60名の参加がありました。主催者の一員として、ここに記して謝意を表する次第です。



佐藤典之氏の講演



仁科健二氏の講演



会場の様子

